

## 家畜衛生だより

From 中央家保 牛用



中央家畜保健衛生所・中央動物防疫協議会  
〒262-0011 千葉市花見川区三角町656  
Tel: 043-250-4141 (夜間・休日対応)  
Fax: 043-286-0090  
(公社)千葉県畜産協会

報告書

まだ提出されていない方は、

## 定期報告書の提出をお願いします！

未提出の方は、お手数ですが必要事項を記入のうえ、中央家畜保健衛生所まで提出して下さるよう、よろしくお願いいたします。

報告書を紛失された場合や、ご不明な点がある場合は当所までご連絡ください。

今年度の定期検査を行う地域は、  
**野田市、鎌ヶ谷市**です。

実施検査:ヨ一ネ病  
実施時期:決まり次第お知らせします。

## ～令和4年度中央家畜保健衛生所 新体制～

千葉庁舎

所長 青木 ふき乃 ☆ (☆:転入者)  
次長 石原 勇人 ☆

## 【防疫課】

主幹 櫻井 紀夫 ☆  
主任技師 松原 芳絵 ☆  
主任技師 不破 友介  
技師 角田 千春 ☆

## 【衛生指導課】

課長 猪俣 一陽  
専門員 本多 芙友子  
主任技師 渡邊 世奈 ☆  
主任技師 中村 みどり

## 【庶務課】

課長 岡崎 晃士 ☆  
主査 渡邊 なな

転出者: 芦澤 尚義、武石 佳夫、木下智秀、  
山端 晶子、木下 喜絵、森 浩子  
土肥 世生、齋藤 瞬

佐倉庁舎

次長 松本 敦子

## 【細菌ウイルス課】

課長 大坪 岳彦 ☆  
上席専門員 西川 潤  
専門員 橘 美奈子  
専門員 三浦 良彰  
主任技師 倉橋 浩一  
技師 大矢 美帆 ☆

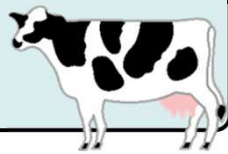
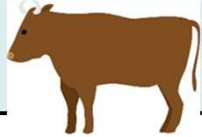
## 【病理生化学課】

課長 渡邊 和彦 ☆  
上席専門員 綿村 崇宏  
専門員 小林 大誠  
専門員 小山 祐介  
技師 島田 果歩

転出者: 篠原 栄里子、高貴 秀幸

本年度も引き続きどうぞ宜しくお願い致します

# 飼料価格高騰に係る対策について 飼料を無駄なく使いましょう！



飼料を巡っては、とうもろこしや大豆油かすの国際価格の高騰や海上輸送の混乱や円安等により不安定な供給状況が生じております。

世界情勢を鑑みると、当面の間、飼料の高騰や輸入遅延による不安定な需給状況が予想されます。今一度、飼料給与方法を確認し、今まで以上に飼料を無駄なく使えるよう取り組みましょう。

## 【チェックしましょう】

- ・泌乳量や増体量に応じた適正な飼料給与量の把握
- ・タンク下のホッパーやオーガのつなぎ目から飼料がこぼれていないか確認
- ・残飼や盗食などの状況の確認（給与飼料が無駄にならないように努める）
- ・入手可能な粗飼料への切り替えを行い、必要に応じ、飼料メニューを見直す。ただし、消化障害防止のため、暑熱時の大幅な変更は避ける。

## 【飼料を無駄なく使うための対策】

- ・飼料のロスを減らすため、多回給餌により残飼、飼料の食べこぼしを減らすように努める。
- ・グレードダウンによる品質低下がある場合は、数種類の粗飼料の切断、混合給与等により、嗜好性や採食率を高める工夫を行う。
- ・粗飼料の引き込みによるロスを防止するため、切断長を短くする。
- ・残飼の変敗や異臭等による摂食量低下を防ぐため、飼槽やウォーターカップの修繕・清掃をこまめに行い、飼料の水濡れを防止する。
- ・暑熱時におけるTMRの混合は複数回に分けて、飼料の変敗を防止する。
- ・ネズミやハト等による飼料の汚損・損失を防ぐため、駆除等の対策を行う。
- ・繋ぎ飼いでは、盗食防止のため、繋留ロープ等の長さを適正にする。
- ・ブリスケットボードの設置により飼槽と牛床を分離し、飼料の巻き込みを防止する。
- ・フリーストール牛舎では、給餌時にスタンション等の活用やこまめな 餌寄せの実施により食い負ける個体が出ないように努める。



- ・病気を媒介するハエや蚊などの駆除、衛生対策の徹底を！
- ・毎日の健康観察を行い、本病を疑う臨床症状を確認次第、家畜保健衛生所までご連絡ください。

# 新年度 所長挨拶

平素より家畜保健衛生所業務の推進に御理解、御協力をいただき心より御礼申し上げます。芦澤所長の後任として中央家畜保健衛生所に着任した青木です。引き続きよろしく願いいたします。

さて、高病原性鳥インフルエンザについて、本県では昨シーズン(令和2年度)に458万羽という未曾有の発生を経験し防疫体制を強化していたところですが、今シーズン(令和3年度)も12月以降、市川市、八街市、匝瑳市で3例約6万9千羽の発生がありました。いずれも防疫措置は5日以内に完了し、続発もなく2月18日にすべての移動制限を解除できたことは、生産者の方々の飼養衛生管理基準遵守徹底の結果と考えます。4月8日には宮城県で発生があり未だ予断を許さぬ状況が続きますので、引き続き基準の遵守徹底をお願いします。

豚熱については、これまでに国内で17県78事例約28万頭が防疫措置対象となっています。本県での発生はありませんが、昨年12月に宮城県の発生農場から豚等を導入していた県内6農場192頭が疑似患畜として処分されました。また、4月13日には茨城県石岡市の農場でも発生があり、発生リスクが非常に高まっています。県は民間家畜防疫員や知事認定獣医師の協力のもとワクチンの追加接種を継続するとともに、野生イノシシのモニタリング検査を強化してまいります。国内61例目以降はすべてワクチン接種農場での発生であり、侵入原因と考えられる感染イノシシの生息域が拡大していることから、農場では引き続き飼養衛生管理基準の遵守強化をお願いします。

牛については、昨年度より牛ヨーネ病の定期検査を再開、今後はBVDやEBLの検査、清浄化対策にも力をいれて参ります。

家畜伝染病は発生させないことが最も重要ですが、発生時に早期の移動制限解除、経営再開をし経済的被害を最小限にするためには、日頃から実効性のある個別防疫計画を作成・点検しておく必要があります。今年度も計画的に農場へ巡回させていただきますので、ご多忙とは存じますがご協力のほどよろしくお願いいたします。

これからも生産現場と情報を密にして当地域の畜産を家畜衛生の分野から支えて参る所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

中央家畜保健衛生所 所長 青木 ふき乃

お問い合わせ・ご連絡は、千葉県中央家畜保健衛生所まで  
TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送) FAX. 043-286-0090

# 家畜衛生だより

From 中央家保 豚用



中央家畜保健衛生所・中央動物防疫協議会  
〒262-0011 千葉市花見川区三角町656  
Tel:043-250-4141 (夜間・休日対応)  
Fax:043-286-0090  
(公社)千葉県畜産協会

## 茨城県で豚熱の患畜を確認！！ (国内78例目)

【農場概要】 所在地：茨城県石岡市  
飼養状況：約1,000頭

【経緯】4月12日(火) 死亡頭数が増加している旨の通報を受け、病性鑑定を実施。  
4月13日(水) 茨城県の検査により豚熱の疑いが生じたため、農研機構動物衛生研究部門で精密検査を実施したところ、豚熱の患畜であることが判明。

☆☆ワクチン接種農場においても、免疫を獲得していない豚が存在します。  
毎日の健康観察と、早期発見及び異常時の早期通報をお願いします！



### 飼養衛生管理の再確認、再徹底を！

#### ○車両消毒の徹底、交差汚染の防止

特に、と畜場、死亡獣畜回収場所、家畜市場、共同糞尿処理場など、畜産施設に出入りした際は、消毒を徹底しましょう。

#### ○畜舎専用衣服・靴の着用、農場・畜舎へ入る際の手指の消毒

#### ○畜舎・器具のこまめな清掃、消毒

#### ○野生動物との接触・侵入防止対策の徹底

ネズミ、昆虫の駆除、豚舎外壁の補修、防護柵・防鳥ネットの設置等

#### ○継続的なワクチン接種

接種した母豚の母乳を、確実に哺乳豚に飲ませるように注意しましょう。

堆肥舎、死体保管場所  
への設置も忘れずに！



豚の様子がおかしいな?と思ったら中央家畜保健衛生所まで

TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送) FAX. 043-286-0090

※必ず5回以上コールしてください



# まだ提出されていない方は、 定期報告書の提出をお願いします！

未提出の方は、お手数ですが必要事項を記入のうえ、中央家畜保健衛生所まで提出して下さるよう、よろしくお願いします。

報告書を紛失された場合や、ご不明な点がある場合は当所までご連絡ください。

## ～令和4年度中央家畜保健衛生所 新体制～

### 千葉庁舎

所長 青木 ふき乃 ☆

(☆:転入者)

次長 石原 勇人 ☆

#### 【防疫課】

主幹 櫻井 紀夫 ☆  
主任技師 松原 芳絵 ☆  
主任技師 不破 友介  
技師 角田 千春 ☆

#### 【衛生指導課】

課長 猪俣 一陽  
専門員 本多 芙友子  
主任技師 渡邊 世奈 ☆  
主任技師 中村 みどり

#### 【庶務課】

課長 岡崎 晃士 ☆  
主査 渡邊 なな

転出者: 芦澤 尚義、武石 佳夫、木下智秀、  
山端 晶子、木下 喜絵、森 浩子  
土肥 世生、齋藤 瞬

### 佐倉庁舎

次長 松本 敦子

#### 【細菌ウイルス課】

課長 大坪 岳彦 ☆  
上席専門員 西川 潤  
専門員 橘 美奈子  
専門員 三浦 良彰  
主任技師 倉橋 浩一  
技師 大矢 美帆 ☆

#### 【病理生化学課】

課長 渡邊 和彦 ☆  
上席専門員 綿村 崇宏  
専門員 小林 大誠  
専門員 小山 祐介  
技師 島田 果歩

転出者: 篠原 栄里子、高貫 秀幸

本年度も引き続きどうぞ宜しくお願い致します

# 飼料価格高騰に係る対策について 飼料を無駄なく使いましょう！

飼料を巡っては、とうもろこしや大豆油かすの国際価格の高騰や海上輸送の混乱や円安等により不安定な供給状況が生じております。

世界情勢を鑑みると、当面の間、飼料の高騰や輸入遅延による不安定な需給状況が予想されます。今一度、飼料給与方法を確認し、今まで以上に飼料を無駄なく使えるよう取り組みましょう。

## 【チェックしましょう】

- ・残飼や盗食などの状況の確認(給与飼料が無駄にならないよう努める)
- ・飼料の食いこぼしや残飼の腐敗を防止するため、給餌器における飼料の落下量の調整をこまめにチェック
- ・農場の一日(一ヶ月)当たりの給与量と飼料の使用量を把握
- ・タンク下のホッパーやオーガのつなぎ目から飼料がこぼれていないか確認

## 【飼料を無駄なく使うための対策】

- ・発育ステージ(増体量)にあった給与メニューを給与する。
- ・豚房の頭数に合わせた給餌器を使用する。  
特に出荷などによって頭数が少なくなった場合には、一部の給餌器を停止させるなどして調整する。
- ・給餌器を豚房の隅に設置している場合には壁や柵などにより豚が十分に頭を突っ込めず飼料の食い残しを起こす可能性があるので取り付け位置に注意する。
- ・ネズミによる飼料の汚損・損失を防ぐため、駆除等の対策を行う。
  - ・病気を媒介するハエや蚊などの駆除、衛生対策の徹底を！
  - ・毎日の健康観察を行い、本病を疑う臨床症状を確認次第、家畜保健衛生所までご連絡ください。



# 新年度 所長挨拶

平素より家畜保健衛生所業務の推進に御理解、御協力をいただき心より御礼申し上げます。芦澤所長の後任として中央家畜保健衛生所に着任した青木です。引き続きよろしく願いいたします。

さて、高病原性鳥インフルエンザについて、本県では昨シーズン(令和2年度)に458万羽という未曾有の発生を経験し防疫体制を強化していたところですが、今シーズン(令和3年度)も12月以降、市川市、八街市、匝瑳市で3例約6万9千羽の発生がありました。いずれも防疫措置は5日以内に完了し、続発もなく2月18日にすべての移動制限を解除できたことは、生産者の方々の飼養衛生管理基準遵守徹底の結果と考えます。4月8日には宮城県で発生があり未だ予断を許さぬ状況が続きますので、引き続き基準の遵守徹底をお願いします。

豚熱については、これまでに国内で17県78事例約28万頭が防疫措置対象となっています。本県での発生はありませんが、昨年12月に宮城県の発生農場から豚等を導入していた県内6農場192頭が疑似患畜として処分されました。また、4月13日には茨城県石岡市の農場でも発生があり、発生リスクが非常に高まっています。県は民間家畜防疫員や知事認定獣医師の協力のもとワクチンの追加接種を継続するとともに、野生イノシシのモニタリング検査を強化してまいります。国内61例目以降はすべてワクチン接種農場での発生であり、侵入原因と考えられる感染イノシシの生息域が拡大していることから、農場では引き続き飼養衛生管理基準の遵守強化をお願いします。

牛については、昨年度より牛ヨーネ病の定期検査を再開、今後はBVDやEBLの検査、清浄化対策にも力をいれて参ります。

家畜伝染病は発生させないことが最も重要ですが、発生時に早期の移動制限解除、経営再開をし経済的被害を最小限にするためには、日頃から実効性のある個別防疫計画を作成・点検しておく必要があります。今年度も計画的に農場へ巡回させていただきますので、ご多忙とは存じますがご協力のほどよろしくお願いいたします。

これからも生産現場と情報を密にして当地域の畜産を家畜衛生の分野から支えて参る所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

中央家畜保健衛生所 所長 青木 ふき乃

お問い合わせ・ご連絡は、千葉県中央家畜保健衛生所まで  
TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送) FAX. 043-286-0090

# 一斉消毒の日チェック表



年月日:令和 年 月 日

農場名:

住所:

チェック	番号	項目	内容
<input type="checkbox"/>	1	出入車両 消毒確認	飼料運搬・動物薬販売・診療獣医師などの出入り車両の消毒を確認します。
<input type="checkbox"/>	2	立入者 衣服交換	畜舎等衛生管理区域に立ち入る獣医師・袋飼料配送業者などの専用衣服への着替えを確認します。
<input type="checkbox"/>	3	消石灰 散布	農場入口に石灰帯(全体的に白くなるよう散布)を作ります。
<input type="checkbox"/>	4	踏込み消毒 槽点検	畜舎・事務所入口の踏込み消毒槽を点検し、消毒薬を確認します。
<input type="checkbox"/>	5	畜舎消毒	空の豚房、通路などを清掃し、動力噴霧器で洗浄・消毒します。
<input type="checkbox"/>	6	整理・清掃	畜舎周囲の不要品の片付け、除草を行います。
<input type="checkbox"/>	7	チェック表 送付	このチェック表を家畜保健衛生所に送付します。

その他コメント・連絡など

連絡先: 中央家畜保健衛生所

FAX: 043-286-0090

TEL: 043-250-4141

※FAXをお持ちでない方は電話連絡でもかまいません。



# 家畜衛生だより

From 中央家保 鶏用



中央家畜保健衛生所・中央動物防疫協議会  
〒262-0011 千葉市花見川区三角町656  
Tel: 043-250-4141 (夜間・休日対応)  
Fax: 043-286-0090  
(公社)千葉県畜産協会

## まだ提出されていない方は、 定期報告書の提出をお願いします！

報告書

提出期限は**6月15日**となっております

未提出の方は、お手数ですが必要事項を記入のうえ、中央家畜保健衛生所まで提出して下さるよう、よろしく申し上げます。

報告書を紛失された場合や、ご不明な点がある場合は当所までご連絡ください。

### ～令和4年度中央家畜保健衛生所 新体制～

千葉庁舎

所長 青木 ふき乃 ☆

(☆:転入者)

次長 石原 勇人 ☆

#### 【防疫課】

主幹 櫻井 紀夫 ☆  
主任技師 松原 芳絵 ☆  
主任技師 不破 友介  
技師 角田 千春 ☆

#### 【衛生指導課】

課長 猪俣 一陽  
専門員 本多 芙友子  
主任技師 渡邊 世奈 ☆  
主任技師 中村 みどり

#### 【庶務課】

課長 岡崎 晃士 ☆  
主査 渡邊 なな

転出者: 芦澤 尚義、武石 佳夫、木下智秀、  
山端 晶子、木下 喜絵、森 浩子  
土肥 世生、齋藤 瞬

佐倉庁舎

次長 松本 敦子

#### 【細菌ウイルス課】

課長 大坪 岳彦 ☆  
上席専門員 西川 潤  
専門員 橘 美奈子  
専門員 三浦 良彰  
主任技師 倉橋 浩一  
技師 大矢 美帆 ☆

#### 【病理生化学課】

課長 渡邊 和彦 ☆  
上席専門員 綿村 崇宏  
専門員 小林 大誠  
専門員 小山 祐介  
技師 島田 果歩

転出者: 篠原 栄里子、高貴 秀幸

本年度も引き続きどうぞ宜しくお願い致します

# 飼料価格高騰に係る対策について 飼料を無駄なく使いましょう！

飼料を巡っては、とうもろこしや大豆油かすの国際価格の高騰や海上輸送の混乱や円安等により不安定な供給状況が生じております。

世界情勢を鑑みると、当面の間、飼料の高騰や輸入遅延による不安定な需給状況が予想されます。今一度、飼料給与方法を確認し、今まで以上に飼料を無駄なく使えるよう取り組みましょう。

## 【チェックしましょう】

- ・大量に餌を残している場合には、水が補給されているか、体の異常の有無を確認
- ・飼料のこぼれや散らかしが激しい場合には、給餌樋の高さの不適や、デビーキングの不良などの要因が考えられるので原因を確認
- ・給水時の飲料水が給餌樋に入ることにより、飼料の腐敗変敗、汚れの原因となるので、ニップルドリンカーの高さ、漏れに注意
- ・タンク下のホッパーやオーガのつなぎ目から飼料がこぼれていないか確認

## 【飼料を無駄なく使うための対策】

- ・食べ残しが少ないような適度な量を与える。
- ・ネズミによる飼料の汚損・損失を防ぐため、駆除等の対策を行う。



- ・病気を媒介するハエや蚊などの駆除、衛生対策の徹底を！
- ・毎日の健康観察を行い、本病を疑う臨床症状を確認次第、家畜保健衛生所までご連絡ください。

# 新年度 所長挨拶

平素より家畜保健衛生所業務の推進に御理解、御協力をいただき心より御礼申し上げます。芦澤所長の後任として中央家畜保健衛生所に着任した青木です。引き続きよろしくお願いいたします。

さて、高病原性鳥インフルエンザについて、本県では昨シーズン(令和2年度)に458万羽という未曾有の発生を経験し防疫体制を強化していたところですが、今シーズン(令和3年度)も12月以降、市川市、八街市、匝瑳市で3例約6万9千羽の発生がありました。いずれも防疫措置は5日以内に完了し、続発もなく2月18日にすべての移動制限を解除できたことは、生産者の方々の飼養衛生管理基準遵守徹底の結果と考えます。4月8日には宮城県で発生があり未だ予断を許さぬ状況が続きますので、引き続き基準の遵守徹底をお願いします。

豚熱については、これまでに国内で17県78事例約28万頭が防疫措置対象となっています。本県での発生はありませんが、昨年12月に宮城県の発生農場から豚等を導入していた県内6農場192頭が疑似患畜として処分されました。また、4月13日には茨城県石岡市の農場でも発生があり、発生リスクが非常に高まっています。県は民間家畜防疫員や知事認定獣医師の協力のもとワクチンの追加接種を継続するとともに、野生イノシシのモニタリング検査を強化してまいります。国内61例目以降はすべてワクチン接種農場での発生であり、侵入原因と考えられる感染イノシシの生息域が拡大していることから、農場では引き続き飼養衛生管理基準の遵守強化をお願いします。

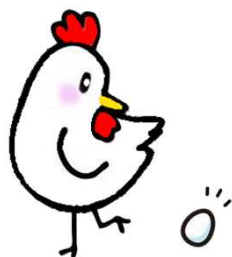
牛については、昨年度より牛ヨーネ病の定期検査を再開、今後はBVDやEBLの検査、清浄化対策にも力をいれて参ります。

家畜伝染病は発生させないことが最も重要ですが、発生時に早期の移動制限解除、経営再開をし経済的被害を最小限にするためには、日頃から実効性のある個別防疫計画を作成・点検しておく必要があります。今年度も計画的に農場へ巡回させていただきますので、ご多忙とは存じますがご協力のほどよろしくお願いいたします。

これからも生産現場と情報を密にして当地域の畜産を家畜衛生の分野から支えて参る所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

中央家畜保健衛生所 所長 青木 ふき乃

お問い合わせ・ご連絡は、千葉県中央家畜保健衛生所まで  
TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送) FAX. 043-286-0090



# 一斉消毒 チェック表

年月日:令和 年 月 日

農場名:

住 所:

チェック	番号	項目	内容
<input type="checkbox"/>	1	出入車両 消毒確認	飼料運搬業者・家畜診療獣医師・家畜運搬業者 などの車両の消毒実施を確認します。
<input type="checkbox"/>	2	立入者 衣服交換	畜舎等衛生管理区域に立ち入る診療獣医師・ 袋飼料配送業者などの専用衣服、長靴交換を 確認します。
<input type="checkbox"/>	3	消石灰 散布	農場入口に石灰帯(全体的に白くなるよう散布) を作ります。
<input type="checkbox"/>	4	踏込み消毒 槽点検	畜舎・事務所入口の踏込み消毒槽を点検し、 汚れや、液量が減っていたら交換、補充します。
<input type="checkbox"/>	5	防鳥ネット 等確認	防鳥ネットや鶏舎の壁を確認し、破損等の補修 を行います。
<input type="checkbox"/>	6	整理・清掃	畜舎周囲の不要品の片付け、除草を行います。
<input type="checkbox"/>	7	チェック表 送付	このチェック表を家畜保健衛生所に送付します。

その他コメント・連絡など

※FAXをお持ちでない方は電話連絡でもかまいません。

--

# 家畜衛生だより

From 中央家保 めん山羊用



中央家畜保健衛生所・中央動物防疫協議会  
〒262-0011 千葉市花見川区三角町656  
Tel: 043-250-4141 (夜間・休日対応)  
Fax: 043-286-0090  
(公社)千葉県畜産協会

## まだ提出されていない方は、 定期報告書の提出をお願いします！

未提出の方は、お手数ですが必要事項を記入のうえ、中央家畜保健衛生所まで提出して下さるよう、よろしく申し上げます。

報告書を紛失された場合や、ご不明な点がある場合は当所までご連絡ください。

### ～令和4年度中央家畜保健衛生所 新体制～

#### 千葉庁舎

所長 青木 ふき乃 ☆  
次長 石原 勇人 ☆

(☆: 転入者)

#### 【防疫課】

主幹 櫻井 紀夫 ☆  
主任技師 松原 芳絵 ☆  
主任技師 不破 友介  
技師 角田 千春 ☆

#### 【衛生指導課】

課長 猪俣 一陽  
専門員 本多 芙友子  
主任技師 渡邊 世奈 ☆  
主任技師 中村 みどり

#### 【庶務課】

課長 岡崎 晃士 ☆  
主査 渡邊 なな

転出者: 芦澤 尚義、武石 佳夫、木下智秀、  
山端 晶子、木下 喜絵、森 浩子  
土肥 世生、齋藤 瞬

#### 佐倉庁舎

次長 松本 敦子

#### 【細菌ウイルス課】

課長 大坪 岳彦 ☆  
上席専門員 西川 潤  
専門員 橘 美奈子  
専門員 三浦 良彰  
主任技師 倉橋 浩一  
技師 大矢 美帆 ☆

#### 【病理生化学課】

課長 渡邊 和彦 ☆  
上席専門員 綿村 崇宏  
専門員 小林 大誠  
専門員 小山 祐介  
技師 島田 果歩

本年度も引き続きどうぞ宜しくお願い致します



# 新年度 所長挨拶

平素より家畜保健衛生所業務の推進に御理解、御協力をいただき心より御礼申し上げます。芦澤所長の後任として中央家畜保健衛生所に着任した青木です。引き続きよろしく願ひいたします。

さて、高病原性鳥インフルエンザについて、本県では昨シーズン(令和2年度)に458万羽という未曾有の発生を経験し防疫体制を強化していたところですが、今シーズン(令和3年度)も12月以降、市川市、八街市、匝瑳市で3例約6万9千羽の発生がありました。いずれも防疫措置は5日以内に完了し、続発もなく2月18日にすべての移動制限を解除できたことは、生産者の方々の飼養衛生管理基準遵守徹底の結果と考えます。4月8日には宮城県で発生があり未だ予断を許さぬ状況が続きますので、引き続き基準の遵守徹底をお願いします。

豚熱については、これまでに国内で17県78事例約28万頭が防疫措置対象となっています。本県での発生はありませんが、昨年12月に宮城県の発生農場から豚等を導入していた県内6農場192頭が疑似患畜として処分されました。また、4月13日には茨城県石岡市の農場でも発生があり、発生リスクが非常に高まっています。県は民間家畜防疫員や知事認定獣医師の協力のもとワクチンの追加接種を継続するとともに、野生イノシシのモニタリング検査を強化してまいります。国内61例目以降はすべてワクチン接種農場での発生であり、侵入原因と考えられる感染イノシシの生息域が拡大していることから、農場では引き続き飼養衛生管理基準の遵守強化をお願いします。

牛については、昨年度より牛ヨーネ病の定期検査を再開、今後はBVDやEBLの検査、清浄化対策にも力をいれて参ります。

家畜伝染病は発生させないことが最も重要ですが、発生時に早期の移動制限解除、経営再開をし経済的被害を最小限にするためには、日頃から実効性のある個別防疫計画を作成・点検しておく必要があります。今年度も計画的に農場へ巡回させていただきますので、ご多忙とは存じますがご協力のほどよろしくお願いいたします。

これからも生産現場と情報を密にして当地域の畜産を家畜衛生の分野から支えて参る所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

中央家畜保健衛生所 所長 青木 ふき乃

**18か月齢以上のめん羊・山羊が死亡した場合又は異常を呈した場合、TSE検査が必要です！**

TSEは伝達性海綿状脳症のことで、めん羊・山羊が発症するスクレイピー等が含まれます。  
※異常：①脱毛、体の痒み②歩行がふらつく等の運動障害③音や光に対して敏感 等

家畜	症状	月齢
めん羊・山羊	異常※を呈する個体	全ての月齢
	死亡めん羊・山羊	18か月齢以上

◎飼養するめん羊・山羊が上記に該当する場合、至急、下記までご連絡ください！

お問い合わせ・ご連絡は、千葉県中央家畜保健衛生所まで  
TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送) FAX. 043-286-0090

# 家畜衛生だより

From 中央家保 馬用



中央家畜保健衛生所・中央動物防疫協議会  
〒262-0011 千葉市花見川区三角町656  
Tel: 043-250-4141 (夜間・休日対応)  
Fax: 043-286-0090  
(公社)千葉県畜産協会

## まだ提出されていない方は、 定期報告書の提出をお願いします！

未提出の方は、お手数ですが必要事項を記入のうえ、中央家畜保健衛生所まで提出して下さるよう、よろしく申し上げます。

報告書を紛失された場合や、ご不明な点がある場合は当所までご連絡ください。

### ～令和4年度中央家畜保健衛生所 新体制～

千葉庁舎

所長 青木 ふき乃 ☆  
次長 石原 勇人 ☆

(☆:転入者)

#### 【防疫課】

主幹 櫻井 紀夫 ☆  
主任技師 松原 芳絵 ☆  
主任技師 不破 友介  
技師 角田 千春 ☆

#### 【衛生指導課】

課長 猪俣 一陽  
専門員 本多 芙友子  
主任技師 渡邊 世奈 ☆  
主任技師 中村 みどり

#### 【庶務課】

課長 岡崎 晃士 ☆  
主査 渡邊 なな

転出者: 芦澤 尚義、武石 佳夫、木下智秀、  
山端 晶子、木下 喜絵、森 浩子  
土肥 世生、齋藤 瞬

佐倉庁舎

次長 松本 敦子

#### 【細菌ウイルス課】

課長 大坪 岳彦 ☆  
上席専門員 西川 潤  
専門員 橘 美奈子  
専門員 三浦 良彰  
主任技師 倉橋 浩一  
技師 大矢 美帆 ☆

#### 【病理生化学課】

課長 渡邊 和彦 ☆  
上席専門員 綿村 崇宏  
専門員 小林 大誠  
専門員 小山 祐介  
技師 島田 果歩

本年度も引き続きどうぞ宜しくお願い致します

# 新年度 所長挨拶

平素より家畜保健衛生所業務の推進に御理解、御協力をいただき心より御礼申し上げます。芦澤所長の後任として中央家畜保健衛生所に着任した青木です。引き続きよろしく願いいたします。

さて、高病原性鳥インフルエンザについて、本県では昨シーズン(令和2年度)に458万羽という未曾有の発生を経験し防疫体制を強化していたところですが、今シーズン(令和3年度)も12月以降、市川市、八街市、匝瑳市で3例約6万9千羽の発生がありました。いずれも防疫措置は5日以内に完了し、続発もなく2月18日にすべての移動制限を解除できたことは、生産者の方々の飼養衛生管理基準遵守徹底の結果と考えます。4月8日には宮城県で発生があり未だ予断を許さぬ状況が続きますので、引き続き基準の遵守徹底をお願いします。

豚熱については、これまでに国内で17県78事例約28万頭が防疫措置対象となっています。本県での発生はありませんが、昨年12月に宮城県の発生農場から豚等を導入していた県内6農場192頭が疑似患畜として処分されました。また、4月13日には茨城県石岡市の農場でも発生があり、発生リスクが非常に高まっています。県は民間家畜防疫員や知事認定獣医師の協力のもとワクチンの追加接種を継続するとともに、野生イノシシのモニタリング検査を強化してまいります。国内61例目以降はすべてワクチン接種農場での発生であり、侵入原因と考えられる感染イノシシの生息域が拡大していることから、農場では引き続き飼養衛生管理基準の遵守強化をお願いします。

牛については、昨年度より牛ヨーネ病の定期検査を再開、今後はBVDやEBLの検査、清浄化対策にも力をいれて参ります。

家畜伝染病は発生させないことが最も重要ですが、発生時に早期の移動制限解除、経営再開をし経済的被害を最小限にするためには、日頃から実効性のある個別防疫計画を作成・点検しておく必要があります。今年度も計画的に農場へ巡回させていただきますので、ご多忙とは存じますがご協力のほどよろしく願いいたします。

これからも生産現場と情報を密にして当地域の畜産を家畜衛生の分野から支えて参る所存です。どうぞよろしく願いいたします。

中央家畜保健衛生所 所長 青木 ふき乃



お問い合わせ・ご連絡は、千葉県中央家畜保健衛生所まで  
TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送) FAX. 043-286-0090